

平成31年2月22日

平成30年度東洋学研究情報センター機関推進プロジェクト実施報告書（項目1～6）

1. プロジェクト名

華語圏現代史貴重史料の収集・整理

2. 申請研究者

松田 康博・東京大学東洋文化研究所・教授

共同研究者

黄偉修・東京大学東洋文化研究所・助教

家近亮子・敬愛大学国際学部・教授

岩谷将・北海道大学大学院法学研究科・教授

福田円・法政大学法学・教授

3. 研究期間平成28年4月1日から平成31年3月31日（3年間）

4. プロジェクトの趣旨、全体計画（400字程度）

本プロジェクトは、「台湾現代史貴重史料の収集・整理」（機関推進プロジェクト平成22-24年度）および「中華圏現代史貴重史料の収集・整理」（同上、平成25年度、平成26-27年度）の後継プロジェクトであり、アジア古典知識庫の構築（アジア諸地域の文献資料・造形資料・研究情報の収集・整理、データベース構築）の一部を想定している。これまで申請者が収集してきた現代中華圏史料は、どこにも公開されていない貴重なものが多く含まれている。それらは所定の手続きを踏み、順次東文研図書室に納入し、平成25年度から「現代台湾文庫」、「現代中国文庫」として公開されており、東文研のホームページでもその紹介を行っている（<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/~ymatsuda/jp/project.html>）。平成25年度以降は中国大陸での購入ルート開拓を始めた。平成29年度も基本的には中華圏にこだわらず、華語で書かれている文献資料一般を対象として、新たな史料供給源を開拓し、散逸してしまう前に華語圏現代史に関する貴重史料を収集する。

5. 今年度の研究実施状況（400字程度）

科研費、個人研究費、会議参加（全額招待）による出張機会などを利用して積極的に台湾での史料収集を進めた。平成31年2月22日現在、所定の予算と部門基盤構築費を併せ、古書・档案・その他について以下の収集が済み、整理が済み次第順次東文研図書室に納入している。

台北での購入分

書名・档案・その他		
游撃及反游撃戦争之研究	寶島紀念（翁文維日記）	國軍建軍史
軍官革命理論讀本	（機密）共匪対台滲透顛覆陰謀的剖析	56年國軍通信技術競賽手冊
革命理論釋要(上下冊)	（機密）「電信保防工作之作法與現況」講述表解	組織戰
戰地政務概論	共匪対台滲透顛覆陰謀的剖析與反制	78年調查局電話號碼簿
解決共產主義思想與方法的根本問題	共匪対海外統戰陰謀與我因応措施	對共匪武裝暴動之研究
反共抗俄基本論	駐外人員应有的保防警覺	調查局對匪鬥爭史實
政治常識及精神教育	調查局的歷史（草稿）	國軍特種作戰學術表解彙編
國民革命史	民主基金会學術座談会記錄（14冊）	領袖對情報工作訓詞選輯
最新武器之介紹	觀察	石牌訓練班.研究班同學通訊錄
49年安全防護	軍需學校二十期同學錄	陸軍官校第17期21總隊通訊錄
謀略戰	翁文維個人檔案（28件）	台灣地區反顛覆地下戰.破案史實
投石計劃案		

6. 今年度の研究成果の概要（400字程度）

平成31年2月22日現在、現代台湾文庫は、1,673件にまで達している。まだ納入していない資料については、東文研図書室の繁忙期を避け、少しずつ納入する予定である。